

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年12月28日

協議会名: 飯田市地域公共交通改善市民会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
信南交通(株)	<p>【系統名】 路線バス遠山郷線</p> <p>【運行区間】 かぐらの湯～上町～飯田駅前</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。</p> <p>総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。</p> <p>出前講座にて、バスの乗り方や時刻表の見方等の説明を行い、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ、利用促進を図った。</p> <p>「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標である1運行あたりの乗車人数6.5人に対し、実績は5.9人で、目標達成率は91%となった。 沿線住民の人口減少、特に少子化により通学に利用する高校生の減少の影響が大きい。	乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。 免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
遠山タクシー(有)	<p>【系統名】 路線バス平岡線</p> <p>【運行区間】 和田～名古屋～平岡</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。</p> <p>総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。</p> <p>出前講座にて、バスの乗り方や時刻表の見方等の説明を行い、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ、利用促進を図った。</p> <p>「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。</p>	<p>A</p> <p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>A</p> <p>目標である1運行あたりの乗車人数2.0人に対し、実績は2.5人で、目標達成率は125%となった。</p>	<p>乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。</p> <p>免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。</p>
信南交通(株)	<p>【系統名】 路線バス阿島線循環線</p> <p>【運行区間】 飯田病院前～イオン～飯田病院前</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。</p> <p>総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。</p> <p>出前講座にて、バスの乗り方や時刻表の見方等の説明を行い、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ、利用促進を図った。</p> <p>「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。</p>	<p>A</p> <p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>A</p> <p>目標である1運行あたりの乗車人数11.3人に対し、実績は17.4人で、目標達成率は154%となった。</p>	<p>乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。</p> <p>免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
信南交通(株)	<p>【系統名】 路線バス阿島循環線(ほっ湯アップル経由)</p> <p>【運行区間】 飯田病院前～ほっ湯アップル～飯田病院前</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。 総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。 出前講座にて、バスの乗り方や時刻表の見方等の説明を行い、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ、利用促進を図った。 「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>A 目標である1運行あたりの乗車人数7.6人に対し、実績は9.1人で、目標達成率は120%となった。</p>	<p>乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。 免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。</p>
南信州広域タクシー(有)	<p>【系統名】 市民バス千代線</p> <p>【運行区間】 法全寺～市立病院～飯田駅前</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。 総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。 出前講座にて、バスの乗り方や時刻表の見方等の説明を行い、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ、利用促進を図った。 「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>A 目標である1運行あたりの乗車人数5.7人に対し、実績は5.9人で、目標達成率は104%となった。</p>	<p>乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。 免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
南信州広域タクシー(有)	<p>【系統名】 市民バス久堅線</p> <p>【運行区間】 平栗車庫～市立病院～飯田駅前</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。</p> <p>総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。</p> <p>出前講座にて、バスの乗り方や時刻表の見方等の説明を行い、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ、利用促進を図った。</p> <p>「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 目標である1運行あたりの乗車人数3.9人に対し、実績は5.3人で、目標達成率は136%となった。	<p>乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。</p> <p>免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。</p>
南信州広域タクシー(有)	<p>【系統名】 市民バス三穂線</p> <p>【運行区間】 立石～市立病院～飯田駅前</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。</p> <p>総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。</p> <p>出前講座にて、バスの乗り方や時刻表の見方等の説明を行い、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ、利用促進を図った。</p> <p>「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 目標である1運行あたりの乗車人数6.0人に対し、実績は6.5人で、目標達成率は108%となった。	<p>乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。</p> <p>免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
南信州広域タクシー(有)	<p>【系統名】 乗合タクシー竜東線(千代)</p> <p>【運行区間】 千代、龍江、竜丘、松尾</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。 総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。 出前講座にて、乗合タクシーの乗り方や時刻表の見方等の説明を行い、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ、利用促進を図った。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標である1運行あたりの乗車人数2.2人に対し、実績は2.0人で、目標達成率は91%となった。 利用者高齢化による固定客の減少や新規利用者がなかなか増えないことが影響すると考える。	<p>乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。 免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。</p>
南信州広域タクシー(有) 南飯田タクシー	<p>【系統名】 乗合タクシー竜東線(久堅)</p> <p>【運行区間】 上久堅、下久堅、松尾</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。 総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。 出前講座にて、乗合タクシーの乗り方や時刻表の見方等の説明を行い、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ、利用促進を図った。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標である1運行あたりの乗車人数2.0人に対し、実績は1.9人で、目標達成率は95%となった。 利用者高齢化による固定客の減少や新規利用者がなかなか増えないことが影響すると考える。	<p>乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。 免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
南信州広域タクシー(有)	<p>【系統名】 乗合タクシー遠山郷高校通学支援線</p> <p>【運行区間】 飯田高校前～和田</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。</p> <p>総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 目標である1運行あたりの乗車人数2.0人に対し、実績は2.4人で、目標達成率は120%となった。	<p>乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。</p> <p>免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。</p>
朝日交通(株)	<p>【系統名】 乗合タクシー三穂線</p> <p>【運行区間】 三穂、山本、伊賀良</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。</p> <p>総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。</p> <p>出前講座にて、乗合タクシーの乗り方や時刻表の見方等の説明を行い、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ、利用促進を図った。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標である1運行あたりの乗車人数2.4人に対し、実績は1.7人で、目標達成率は71%となった。 利用者高齢化による固定客の減少や新規利用者がなかなか増えないことが影響すると考える。	<p>乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。</p> <p>免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
遠山タクシー(有)	<p>【系統名】 乗合タクシー平岡線</p> <p>【運行区間】 南信濃地区、天竜村</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。</p> <p>総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。</p> <p>出前講座にて、乗合タクシーの乗り方や時刻表の見方等の説明を行い、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ、利用促進を図った。</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>C 目標である1運行あたりの乗車人数2.0人に対し、実績は0.8人で、目標達成率は40%となった。</p> <p>沿線住民の人口減少、特に少子化により通学に利用する高校生の減少の影響が大きい。</p> <p>利用者高齢化による固定客の減少や新規利用者がなかなか増えないことが影響すると考える。</p>	<p>乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。</p> <p>免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。</p>
<p>北部タクシー(有)</p> <p>第一観光タクシー(株)</p>	<p>【系統名】 乗合タクシー上市田線</p> <p>【運行区間】 高森町、座光寺、上郷</p>	<p>市民会議部会にて、路線維持のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。</p> <p>総会までの期間で討議が重ねられるよう、部会の開催時期を見直し、8月開催とした。</p> <p>出前講座にて、乗合タクシーの乗り方や時刻表の見方等の説明を行い、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ、利用促進を図った。</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>C 目標である1運行あたりの乗車人数2.0人に対し、実績は1.8人で、目標達成率は90%となった。</p> <p>利用者高齢化による固定客の減少や新規利用者がなかなか増えないことが影響すると考える。</p>	<p>乗車体験を含めた出前講座の開催、市広報紙での周知により、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。</p> <p>免許返納者に対する回数券交付制度を継続し、丁寧な説明により利用促進を図る。</p>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年12月28日

協議会名:	飯田市地域公共交通改善市民会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>飯田市は、長野県の最南端、いわゆる伊那谷の中心都市である。人口は約9万6千人、面積は約659km<sup>2</sup>と広大な市域に都市部、郊外、過疎地域を含む中山間地域など多様な特性を持った地域であることから、地域公共交通についても全市一律の対応とはせず、それぞれの地域特性に応じたきめ細やかな運行に取り組んでいる。地域公共交通網は、中心市街地(JR飯田駅)から放射状に展開しており、郊外、過疎地域を含む中山間地域まで広く運行している。</p> <p>通勤通学の時間帯はバスによる路線定期運行を行い高齢者等の通院や買い物等に、昼間の時間帯はデマンド型交通の乗合タクシーを運行することにより、効率的な運行体系を実現する。</p> <p>今後、免許返納などにより高齢の交通弱者の増加が考えられることから、生活交通の維持は欠かせず、高齢者向けにわかりやすく乗合タクシーの使い方を周知するなど、新たな利用者の獲得を目指す。</p>